

廃棄物学会関西支部 第4回廃棄物法制度に関するセミナー開催報告

関西支部の第4回廃棄物法制度に関するセミナーが、副題「循環型社会と廃棄物・リサイクル対策」として、平成19年3月17日に、キャンパスプラザ京都において開催された。

本セミナーは、これまでの廃棄物・リサイクルに関する法律制定・改正の経緯



や、今後の法整備のあり方について、理解を深めることを目的としたものであり、当日は94名の方々が参加された。

まず、講演では、環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部の由田秀人部長から、これまでの廃棄物処理対策の経緯、電子マニフェストや産業廃棄物処理業者の優良評価制度の普及、低濃度 PCB 汚染物処理の方向性等についてご説明いただいた。さらに、バイオマス利用の社会資本整備やアジアにおける3R推進の重要性についても言及していただいた。

一方、質疑応答は、これまでと趣向を変え、出席者から事前にいただいた質問を整理し、一問一答形式で行った。質問内容は、リサイクル問題からCO₂削減問題と多岐にわたるものであったが、講師からの的確なご回答をいただいた。

また、これまでの体験談を随所にお話ししていただき、会場から笑いがこぼれる場面もみられ、本セミナーは盛会裡に終了した。

このセミナーは関西支部の行事として、今後も続けていくことを予定しており、これからも多くの方々にご参加いただけることを願っております。

(関西支部 古林通孝 記)